



マイナ保険証普及と利用促進は

町長 広報ようろう等でPRしている

◆早崎百合子 議員

問 高齢者のマイナ
カード取得支援は。

答 病気等でやむを得ず役場に出向くことが困難であると認められるときは、受け取る際に必要となる本人確認の書類等があるため、個別対応となり、代理人を通じマイナカードを受け取ることができる。

問 交付申請者本人
が受け取りできな
い場合は。

答 広報チラシを渡し、希望された時は、窓口で利用登録の補助を行い、マイナ保険証の紹介をしている。

問 利用促進に向け
た取組は。

答 マイナ保険証の広報チラシを渡して、ターゲットを育成し、延べ2686名が受講された。昨

問 施設等でのマイ
ナカード取得支援
は。

答 施設内での写真撮影場所の確保等、施設事業所との協力が必要となる。施設事業所から依頼後、依頼先施設へ職員が出張し、申請を受け付ける。



マイナンバーカード

※マイナカード

あれからどうなったんやあ～

シリーズ 113

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和5年12月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 地域振興イベントは

答 町民参加イベントを計画する

こうなりました

養老町では、令和6年度に、町民の皆様とともに、「人があつまり 楽しく生きがいのあるまち」の実現を目指して町制施行70周年記念事業を実施しています。

令和6年4月から令和7年1月までの10ヶ月間に、記念式典をはじめ、町が主催する冠事業を17事業、各種団体等が主催する冠事業を35事業、町民が自ら企画する事業を15事業の合計68事業を実施し、延べ54,000人以上の方に参加いただきました。

記念事業は令和7年3月まで行われます。



これから開催される町制施行70周年記念事業

事業名	開催日	場所	参加者数
高田祭	R 6.5.18(土)・19(日)	養老町高田商店街	約10000人
養老フェスタ2024	R 6.10.19(土)・20(日)	町総合体育館・多目的広場	約16500人
養老町制施行70周年記念式典	R 6.11.3(日)	養老町民会館	約450人
Christmas Market in Yoro Park	R 6.12.6(金)～8(日)	岐阜県こどもの国なかよし広場一帯	約6000人

事業名	開催日	場所
令和6年度養老町教育・文化フォーラム	R 7.2.8(土)	養老町民会館
軽トラSDGsマルシェ	R 7.3.29(土)	養老公園内臨時駐車場

認知症の市町村計画の策定は

町長 認知症対策を推進していく



◆松永 たみお 民夫 議員

超高齢化社会の中で、認知症の人が増えても、住み慣れた地域で安心して暮らせるような社会の仕組みづくりを急がねばならない。

問 調査は行つてない。介護認定や地域包括支援センターの相談の中で対応している。

答 地域包括センター内に正職員1名と会計年度任用職員1名を配置している。関係機関と連携し、地域支援体制づくりや認知症の人や家族を支援する相談業務等を実施している。

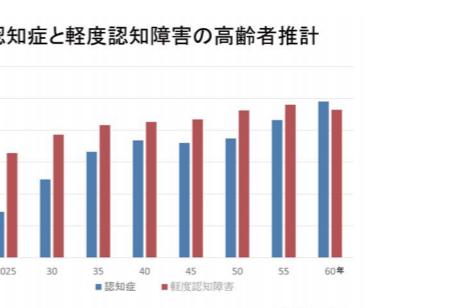
問 認知症サポーター制度の現状と活用は。

答 平成20年度から認知症サポートを育成し、延べ2686名が受講された。昨

問 認知症地域支援員の配置と活動は。

答 認知症地域支援員の配置と活動は。

年度からステップアップ研修を行い、認知症カッフェ等の活動を支援していく。



問 次期養老町介護保険計画と一緒に「養老町認知施策推進計画」を盛り込むことを検討している。

災害時の弱者対策は

町長 支援体制の構築を推進する

大規模地震などの災害時、避難で配慮が必要な「災害弱者」は少なくない。迅速に避難できる支援体制の整備が必要である。

問 避難行動要支援名簿の活用は。

自主防災隊の隊長である区長や関係機関と緊密に連携していく。風水害、土砂災害では、ハザードマップの災害想定区域外の避難所へ、震災では耐震化されている。定期的に民生委員や各地区の自主防災隊の関係者へ情報提供している。

問 災害弱者の避難場所の確保と対策は。

答 指定福祉避難所（白鶴荘、保健センター）と連携し避難場所の確保に努める。要配慮者ごとに個別支援が必要であり、個別避難計画の作成が重要である。



指定福祉避難所 保健センターと白鶴荘